

5年生の算数



42. 195について考えよう



4 2 . 1 9 5 ってどんな数？



1 0 が 4 個で
1 が 2 個で、
……あれ？

0 . 1 が 1 個
0 . 0 1 が 9 個
0 . 0 0 1 が 5 個
でしょ！



じつは、式にもできますよ
みんなもやってみよう

4 2. 1 9 5 を式で表すと



10が4個で
 10×4



1が2個で
 1×2



0.1が1個で
 0.1×1



0.01が9個で
 0.01×9



0.001が5個で
 0.001×5



これらをすべて合わせれば
いいんだから式は...



$$10 \times 4 + 1 \times 2 + 0.1 \times 1 + 0.01 \times 9 + 0.001 \times 5 = 42.195$$

今日のまとめ

整数や小数のそれぞれの位の数字は
10や1、0.1などの単位となる数の個数
を表しています。
単位の数が10個集まると1つ上の位に進みます。

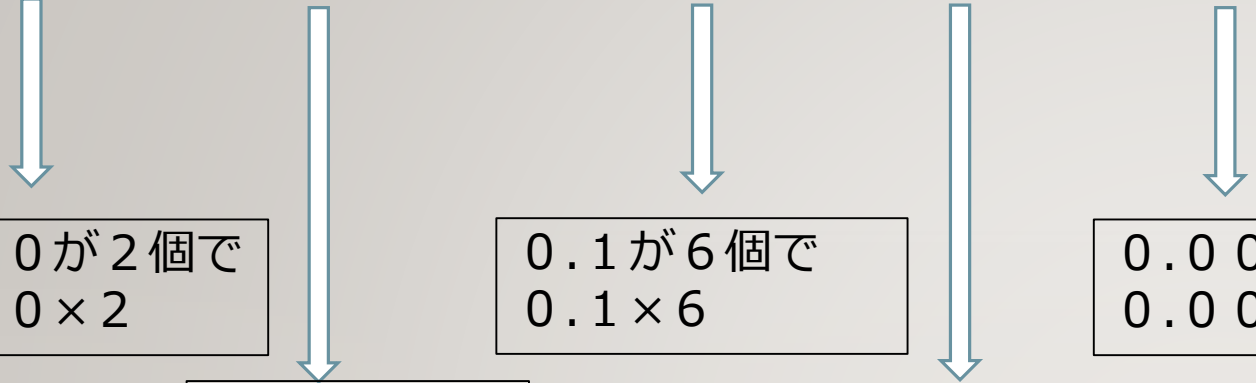
0から9までの数字と小数点でどんな大きさの整数や
小数も表せますね！

教科書P12のたしかめ1・2に取り組みましょう！



たしかめ1

2 7. 6 0 3 を式で表すと



10が2個で
 10×2

1が7個で
 1×7

0.1が6個で
 0.1×6

0.01が0個で
 0.01×0

0.001が3個で
 0.001×3

位の数字が0であっても、
 0.01×0 を書こう。



$$10 \times 2 + 1 \times 7 + 0.1 \times 6 + 0.01 \times 0 + 0.001 \times 3 = 27.603$$



いちばん大きい数字をつくりたいときは
大きい位から順番に大きい数字を入れていけばいいんだね。
だから9 8.7 2 1だね

いちばん小さい数字をつくりたいときは
いちばん大きい位から順番に小さい数字を入れていけばいいんだね。
だから1 2.7 8 9ね！

